

報道関係各位

三菱地所株式会社

攻めのIT経営銘柄2019に選定 対内的、対外的取り組みの両輪で、テクノロジーを活用したビジネスモデル革新を推進

三菱地所株式会社は、経済産業省と東京証券取引所が定める「攻めのIT経営銘柄」に選定されました。本銘柄は、「攻めのIT経営[※]」に積極的に取り組む企業を株式市場で評価するもので、東京証券取引所の国内上場会社（一部、二部、マザーズ、JASDAQ）約3,600社を対象として、33業種から各1・2社程度、評価の高い企業が選出されます。本取り組みは、2015年の開始以来、今年で5回目の開催です。

※ITの活用による企業の製品・サービス強化やビジネスモデル変革を通じて、新たな価値の創出やそれを通じた競争力の強化に戦略的に取り組む経営のこと



攻めのIT経営銘柄2019 Competitive IT Strategy Company

選定のポイント

- ① 老朽化・複雑化の是正や業務の効率化などの観点から既存システムの更新を進めてきたこと
- ② デジタルトランスフォーメーション推進の専属組織「DX推進室[※]」を立ち上げるなど、社内体制を整備してきたこと
- ③ 異業種でのデータ流通・利活用の実証実験など、産学連携の取組を進めてきたこと

※DX推進室は2019年4月より「DX推進部」として独立。

三菱地所では、デジタルテクノロジーを活用したビジネスモデル革新（デジタルトランスフォーメーション=DX）をグループ横断的に推進することを目的とし、2018年11月より「DX推進室」が発足、2019年4月にはそのさらなる推進を目的として「DX推進部」に改組しました。同組織が旗振り役となり、人手不足社会の到来にむけた「警備・清掃・運搬分野のロボットを活用した施設管理の高度化」や、次世代モビリティ社会を見据えて「モビリティ革命の恩恵を都市や生活者に届ける」ための取組など、テクノロジーを活用した新たなビジネスモデルの創出を目指します。また、テレワーク環境の整備やIT技術を駆使した効率的な働き方を実現するワークプレイスの検証など、働き方改革をITの観点からも推進していきます。

■（参考）「攻めの IT 経営」に関する取り組み

働き方・組織風土の改革による社内体制の整備

①ショーケースとなる新本社への移転

2018 年 1 月に「新たな価値を創出し続けるオフィス」の実現に向けて「大手町パークビルディング」に本社を移転し、働き方の改革をオフィス環境、制度、IT インフラそれぞれの観点から推進しております。

また、新本社はテクノロジー活用のショーケースとしても位置付け、社内セキュリティ認証システム・社内カフェテリア等での決済システムにおける生体認証の利用や、社内コミュニケーションの効率化・迅速化を目的として社員の位置情報を把握するシステムを導入するなど、IoT の活用・実証などの取組も進め、新たなワークプレイスの在り方を模索し続けます。本社オフィスで得た知見を、今後は街づくりにも活かしていきます。

②DX 推進のための社内体制の整備

デジタルテクノロジーを利活用したビジネスモデル革新を、グループ横断的に主導し、業界を超えた協業・業務提携により、顧客価値を共創するエコシステムを構築していくことを企図して、全社横断のデジタル専属組織として「DX 推進室」を発足しました。

DX 推進室は 2019 年 4 月より「DX 推進部」として独立し、これまで以上にスピード感をもって DX を推進していきます。

外部との連携力を強化しオープンイノベーションの推進体制を整備

③スタートアップ企業との協業体制の整備

「コーポレートアクセラレータープログラム」や、国内外のスタートアップ企業やベンチャーキャピタルへの出資・協業による新事業案件の発掘や既存事業とのシナジー創出を推進しています。

④丸の内のオープンイノベーションフィールド化

インキュベーション施設を丸の内エリアに複数展開しており、2019 年 2 月には産業構造を変革するテクノロジーの集積による、協創を促すイノベーション拠点「Inspired.Lab」を新設しました。

また、産学共同で、当社が保有するデータと異業種他社が保有するデータのほか、丸の内エリアに関わるオープンデータなど数十種類のデータを流通・分析・活用し、丸の内エリアの就業者や来街者などを対象にした新規サービスの検討を実施しました。

以上